の発生状況の他、災害事例についてはイラストや写真を多用したパワーポイントを用いて原因と対策を分かりやすく丁寧な説明がありました。また、熱中症等の最近の法改正や災害発生時の対応等についても説明がありました。

大会宣言が、亀川康則陸災防沖縄県支部宮古分会長より読み上げられたのち採択され、建災防沖縄県支部宮古分会安全指導者の池田淳也氏を筆頭に参加者全員でスローガンに向かい指差呼称が行われ、安全への意識を高めました。

八重山地区

6月11日（水）、石垣市民会館中ホールにて第33回八重山地区安全大会を開催し、91名が参加しました。

参加者全員で黙祷を捧げたあと、平良聡建災防沖縄県支部八重山分会長のあいさつで開会し、建災防沖縄県支部八重山分会の安全指導員西玉得卓氏を先導に指差唱和が行われました。

大会実行委員長である米盛博明労働基準協会八重山支部副支部長は「経済活動の活性化によって仕事の効率が優先され、安全衛生に対する配慮が行き届かず、労働災害が多発するという事態は絶対に避けなければならない。どのような状況においても安全第一の心構えを。」と呼び掛けました。

津田憲志八重山労働基準監督署長からは、「労働災害発生状況は、沖縄県内の昨年では死傷災害、死亡災害ともに増加しておりますが、八重山地区で見ると、休業４日以上の死傷者数は、65人で前年より7人減少しており、死亡災害に至ってはゼロという結果でした。死亡災害に関しては、令和３年7月以降発生しておらず、ぜひともこの結果を継続していきたいと考えており、当署におきましても、今年度の行政目標の第一に死亡災害ゼロの継続を掲げております。事業場に対する監督指導や法令等の周知など様々な手法を用いて八重山地区の事業場のみなさまに働きかけを行い、安全衛生意識の向上を推進してまいります。ぜひ、目標が達成できますよう、皆様も御協力をお願いいたします。」旨の来賓あいさつがありました。堀田八重山監督署労働基準監督官からは、安全週間の趣旨説明が行われました。

大会表彰では砂盛建設（株）(代表取締役砂川盛良)と（有）桃原建材(代表取締役伊藤洋介)が表彰され、米盛大会実行委員長から賞状と記念品が手渡されました。

大会宣言は、（株）前木組の前花洋美氏により読み上げられ、安全確認の徹底と労働災害ゼロの実現に向けた決意を参加者全員で誓い安全意識を高めました。最後に、港災防沖縄総支部八重山支部の新川正人氏のあいさつで閉会しました。